

実現出来ないその真意が未だに私には判らない……。

重ねて一言。法制化の実現こそ全図書館人の念願であり、これ以外に解決の道はないと思う……。

追記 安部球場に新図書館建設決定の朗報に接し実に感無量。在職時大学図書館行政改善委員会委員長に戸川理事、全学二十二名の委員（私は幹事役）で一年間余審議の結果成案の答申書……（戸塚球場に理想の新図書館建設）その実現こそ日夜祈念心中お察し願います。

更に一言、安部球場は明治三十五年にでき、私も同三十五年七月十六日誕生日とは？ これ又……奇縁？……

後記 昭和五年一月第一学院に奉職当時の思い出も東の間、非常時より応召軍隊生活大空襲、学院は壊滅……廃校……第二理工……資料課、庶務課、図書館、経理部を最後に……総ての箇所の上司先輩同僚後輩をして友人にも本当に恵まれた。先見と理解ある心より尊敬の出来る指導者の先輩、腹の底より赦し合える協力者の同僚、そして純真そのものの後輩ばかりだった。半世紀を振り返って見て、私ほど我儘勝手放題の事をよくもやり通させてく

戦後図書館の歩み

れたものだ。今更の様に感無量でならない。正に冷汗百斗である。只々申訳ないこの一事で胸が一杯、それもこれもすべては過去。水に流して頂きたい。天下の果報者、心より感謝とお礼を申し上げ、更に先輩が一つ一つ築かれた百年の尊い歴史の重みを我々は汚すことなく母校愛の三文字を背負うて、常に自信と誇りをもつて明日の希望に燃え、悔のない生涯を楽しく生き抜こうではありませんか……静か？……に学園を去った老兵の手記。

（さくま わさぶろう）

思い出すままに

角田俊雄

図書館長佐々木八郎先生と云えば、当時、大学のご意見番として、本職の平家の他に、行政的手腕は実に見事なものであった。

その先生の最初のお言葉は、君は今更図書館のことに

ついて勉強せんでもよろしい、大学本部と図書館とのパイ役をつとめて欲しい、ということであった。私が長い間学部の仕事ばかりして来て図書館の司書的アカデミックなことには全く駄目な男ということを見抜いていられたのでしよう。

先生の命令通り私は専ら大学本部との人事の交渉や予算の要求といったことにつとめることにした。年中行事の図書館大会には館長の抱持ちとして日本各地をお伴させて貰った。大会の全体会議の席上での館長の態度も実に堂々たるものであった。議論百出なかなか議事がまともにならなくなると、館長が一言決定的な意見を出され、たちまち会議がスムーズに進行するといった具合だった。

先生の下で過ごさせて頂いた三年間の中では大学紛争もあり、本部や学部の建物が全部封鎖されたとき、図書館の書庫の扉を固く鎖して暴徒を一步も近づけない用心をしたが、流石に図書館にだけは危害を加えることはなかった。

次に特筆すべきことを二点書かせて頂く。

その第一点は皆様ご存知の大学の宝である大隈文書の膨大な資料を、雄松堂書店の絶大なご協力によりマイクロ化したことである。全国の研究家はこれにより大いに利用し易くなったことであろう。

第二点は課長制の導入である。今まで事務長の下に主任がいて百数十名の人員を掌握して来たのであるが、主任を昇格して事務長の下に三課長を置き、事務の流れも漸く能率化されたといっても過言ではないと思う。とかく図書館というと他と異なり閉鎖的な職場のように思われて来たが、これで一応は大学本部と同様の目で見られるようになり人事の交流も活発に行われるようになったのである。(つのだ としお)

## 戦後図書館の私の記憶

内山 義 實

大変すばらしい企画ではありますが、残念ながら、も